

ONKYO®

モノラルミキシングアンプ

ICA1240 / ICA1240MS

取扱説明書



■ 同梱品

- ・ アンプ本体
- ・ 電源コード
- ・ FMアンテナ (ICA1240MSのみ)
- ・ 取扱説明書、保証書 (本書)
- ・ ラックマウントキット (金具×2、ネジ×10)

! 本製品は業務用機器のため、専門の施工業者による設置が必要です。

目次

1 安全上のご注意	-----	2
2 製品の特長	-----	4
3 フロントパネル 各部の名称と機能	-----	5
4 リアパネル 各部の名称と機能	-----	7
5 操作方法	-----	8
6 接続機器	-----	9
7 ラックへの設置方法	-----	9
8 主な仕様	-----	10

1. 安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に保管してください。

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った使い方をすると、火災・感電などにより死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

誤った使い方をすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。



警告

- 感電の危険を避けるために、カバーなどを取り外さないでください。修理を行う場合は、資格のあるサービス技術者に修理を依頼してください。また、通風孔やディスクの挿入口、ダクトなどから金属や燃えやすいもの、その他異物を挿入しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機は防水仕様ではありません。火災や感電の危険を避けるために、本機の内部に水が入ったり、濡れないようにご注意ください。本機の近くに液体が入った容器（花瓶など）を置いたり、雨や湿気にさらさないでください。また、風呂場や屋外の水辺などでは使用しないでください。
- 本機の上に火がついたロウソクなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。
- 本機の使用環境温度範囲は0°C～40°C、使用環境湿度は85%以下（通風孔が妨げられていないこと）です。風通しの悪いところや湿度が高すぎる場所、直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。
- 電源コードはプラグを持ってコンセントに抜き差ししてください。コードを持って抜き差しすると断線などの危険性が生じます。また、濡れた状態で電源コードに触れないでください。感電の原因になります。本機や家具などを電源コードの上に置いたり挟んだりしないでください。電源コードが傷ついた場合、火災や感電の原因となります。損傷した場合は修理を依頼してください。電源プラグの差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。
- アース線はアース端子以外に接続しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

- 次のような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

煙が出ている、変なにおいや音がする。/本機を落としてしまった。/本機内部に水や金属が入ってしまった。

また、万一内部に水や異物が入ったときや、本機を落としたりカバーが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

- 長時間音がひずんだ状態で使用しないでください。アンプなどの電気回路が発熱し、火災の原因となることがあります。また、長期間大きな音で使用しないでください。聴力が大きく損なわれる恐れがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。
- ディスク挿入口に手を入れないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。
- ⚡このマークが記載された端子には危険な電圧がかかります。この端子に外部配線をするには教育を受けた人による取り付けが必要です。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

- 強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置いたり、本機に乗ったりぶら下がったりしないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を設置する際は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、換気が十分であることを確認のうえ、本機の天面と側面には10cm、背面から10cm以上のすきまを空けてください。また、本機の上の棚や背面のボードからは10cm以上離して設置し、暖かい空気が逃げるための煙突のようなすきまをつくってください。すきまがないと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風孔が設けられている場合は、布などをかけたり、横倒しなどしないでください。通風孔がふさがれて、火災の原因となることがあります。
- 本機の上に重いものや外側にはみ出るような大きいものを置かないでください。落下したり放熱や通風が妨げられて火災や故障の原因となることがあります。
- 配線ケーブルに気をつけてください。配線された位置によっては、つまずいたり引っかけたりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。
- 製品の仕様によっては、電源スイッチなどを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらずに見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグに容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長期間差したままにすると、火災の原因となることがあります。
- 本機の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。
- アース線は必ず接続してください。接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。
- 雷が鳴り出したら本機、接続機器、電源プラグ、アンテナ、接続ケーブルなどに触れないでください。感電の原因となります。
- 本機通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。電源が入っているときや、電源を切ったあとしばらくは通風孔付近にご注意ください。
- この製品は、レーザー製品の安全基準 IEC 60825-1:2007 規格の基で評価されたクラス1レーザー製品です。レーザー光源をのぞきこまないでください。視力障害を起こすことがあります。

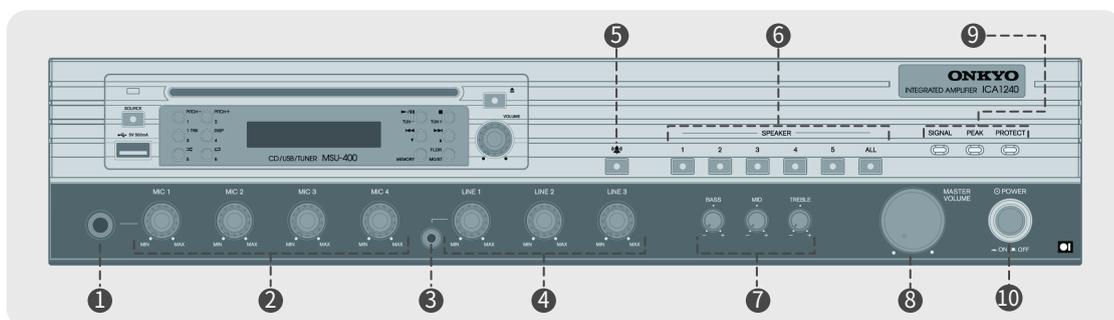
クラス1 レーザ製品

- 移動時は電源プラグや接続ケーブルをはずしてください。また、本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因になります。
- 移動時は、本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因になります。移動時は、本機からディスクを取り出してください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。
- 磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で使えなくなったりデータが消失することがあります。
- 屋外アンテナ工事は販売店に依頼してください。アンテナ工事には技術と経験が必要です。
- 本機のお手入れについて：表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学そうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。
- 機器内部の点検について：お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりがたまっただまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

2. 製品の特長

- ① 240W(モノラル)の高出力、ハイ / ローインピーダンス両方に対応(100/70V、4/8Ω)
- ② マイク入力4系統、LINE入力3系統のミキシングが可能
MIC 1 / MIC 2 / MIC 3 / MIC 4, LINE 1 / LINE 2 / LINE 3 の豊富な入力を装備。
ファンタム電源も装備し、コンデンサーマイクも使用できます。
- ③ MAIN IN端子によりパワーアンプとして使用可能
- ④ ゾーン1~5のスピーカー出力個別設定
各部屋(ゾーン)に設置したスピーカー出力を個別にON/OFFすることができます。
- ⑤ 3バンドTONEコントロール搭載
BASS(低域) / MID(中域) / TREBLE(高域)の3バンドで細やかな音色の調整ができます。
- ⑥ フロントパネルインジケーター機能
電源ON/OFFの状況や出力レベルをインジケーターで確認することができます。
- ⑦ チャイム機能を搭載
- ⑧ 軽量、省スペース設計のデジタルアンプを搭載
既存のアナログアンプよりコンパクトに設置することができます。
- ⑨ USB対応CDプレーヤー / FMチューナー搭載 (ICA1240MSのみ)
 - 音源
CD / USB / FM放送を再生できます。
 - 3ビーム方式のCDメカニズム採用
衝撃に強い自動車用CDメカニズムを採用して安定した再生を実現します。
 - ディスプレイ搭載
ディスプレイで再生の状況をモニタリングできます。
 - MP3、WMA再生
USBやCDプレーヤーで、MP3、WMAファイルの再生ができます。
サンプリング周波数: 8k~48kHz
ビットレート: 64k~320kbps
再生可能なファイル数: 499
CDプレーヤー再生可能メディア: CD-R / CD-RW
 - PITCHコントロール
CD / USBの再生速度を調整して、音程を変えることができます。
 - FM 6局のメモリー可能
デジタルチューナーを搭載、6つの放送局周波数を記憶させることができます。

3. フロントパネル 各部の名称と機能



① MIC 1入力端子

マイクを接続する端子です。前面に標準フォンプラグで接続できます。

② マイク入力ボリューム

MIC 1~4入力のマイク音量を調節します。

③ ミニジャック LINE 1入力端子

ポータブルオーディオプレーヤーやタブレットを接続して本機で出力するときに使用します。

④ LINE インputボリューム

LINE 1~3入力の音量を調節します。

⑤ チャイムボタン

ボタンを押すとチャイム音が出力されます。

⑥ SPEAKER 出力スイッチ

ゾーン1~5のスピーカー出力を個別にON/OFFします。ALLを押すと全てのゾーンから出力されます。

※Lo-Z用のSPEAKER OUT端子に接続したスピーカーはこのスイッチに関わらず常に出力します。

⑦ TONE コントロール

BASS、MID、TREBLEの3種類のコントローラーで音色を調節します。

⑧ マスターボリューム

全体の音量を調節します。

⑨ レベルインジケータ

SIGNAL : スピーカー出力レベルが-30dB以上になると点灯します。

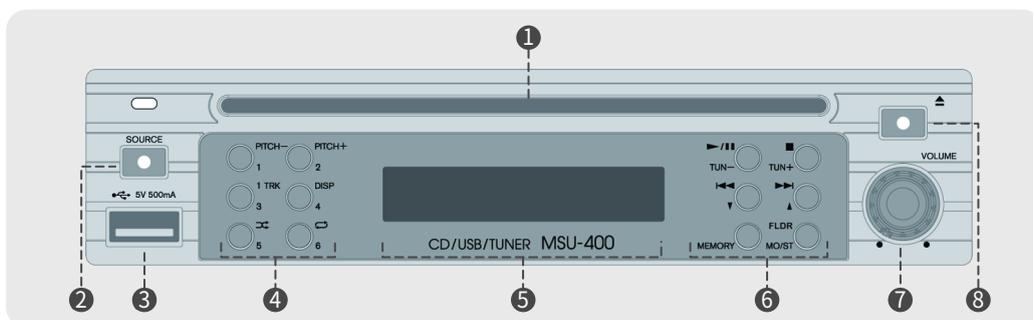
PEAK : スピーカー出力レベルが-10dB以上になると点灯します。

PROTECT : スピーカーで出力される音声が歪む可能性がある場合に点灯します。点灯しないようにインプットボリュームとマスターボリュームを調整してください。

⑩ 電源スイッチ

スイッチを押すとPOWER インジケータが点灯し、本機に電源が供給されます。

フロントパネル 各部の名称と機能 [ICA1240MSのみ]



① CDスロット

ディスクの投入口です。
音楽CDまたはCD-R / CD-RWに記録された音楽ファイルが再生可能です。(12cmディスク)

② SOURCEボタン

音源を変更するボタンです。
CD -> USB -> FMの順番に切り替わります。

③ USB入力端子

USBメモリを接続します。

④ 操作ボタン1

- PITCH+, PITCH- : 再生速度を変更します。
- 1 TRACKボタン
選択された1曲だけ再生する場合に使用します。
再生中にこのボタンを押すと、曲が終わり次第PAUSE(一時停止)状態になります。
- DISPLAYボタン
再生している曲の表示内容(再生時間 / 残り時間)を切り替えます。
- ランダムボタン
曲がランダムに再生されます。
- リpeat再生ボタン
1回ボタンを押して再生すると全曲リピートします。
(表示部は[RPT]点滅)
2回ボタンを押して再生すると1曲リピートします。
(表示部は[RPT]点灯)
3回ボタンを押して再生するとフォルダリピートします。
(表示部[RPT]と▶●◀点灯。音楽CD再生は非対応。)
また、ランダムボタンを押した後にボタンを押して再生するとランダムリピートします。
- TUNERモード: 1~6ボタン
記憶させたCHを呼び出します。

⑤ 表示部

機器の状況を表示します。

⑥ 操作ボタン2

- ▶/|| PLAY / PAUSEボタン(TUN-)
CD / USBの再生および一時停止ボタンです。
TUNERモード: 自動的に周波数を下げて選局が始まり、放送局が見つかったと停止します。
- ■ STOPボタン(TUN+)
CD / USB再生中にSTOPをする時に使用します。
TUNERモード: 自動的に周波数を上げて選局が始まり、放送局が見つかったと停止します。
- ◀◀/▶▶ (▼/▲) SKIP, SEARCHボタン
CD / USBの再生操作に使用します。
TUNERモード: 押すごとに現在の周波数から1ステップずつ変わります。
- MEMORY ボタン
TUNERモード: 選局した周波数を1~6CHまで保存する機能です。
ボタンを押したあと操作ボタン1の1~6の番号を選んで保存します。
- MO / ST, FLDR ボタン
MP3, WMAの場合にフォルダを選択します。
TUNERモード: MONO / STEREO を切り替えます。
※STEREOに非対応の周波数ではSTEREOを有効にできません。

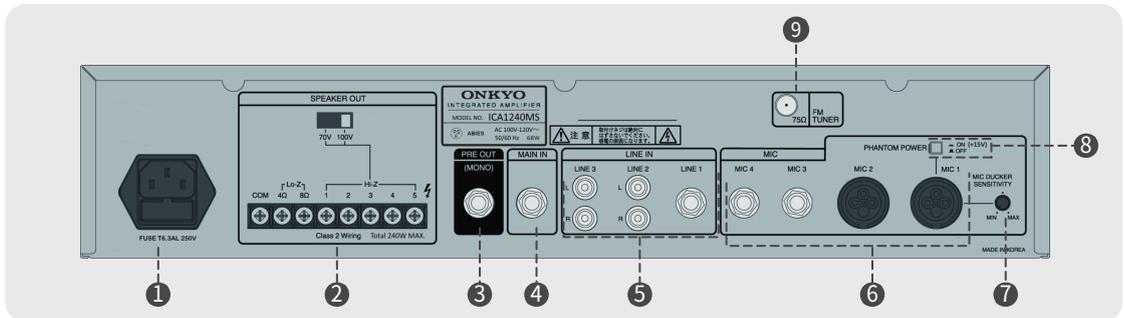
⑦ VOLUME

音量を調節します。右に回すと音が大きくなります。

⑧ EJECTボタン

ディスクを挿入または取り出す時に使用します。3秒以上長押しするとLOCK ONとLOCK OFFが切り替わります。
注意: LOCK ONの時にはボタンを押してもディスクを取り出すことができません。

4. リアパネル 各部の名称と機能



① AC電源入力端子

付属の電源コードをAC電源入力端子に接続し、電源プラグをコンセントへ挿し込みます。

② SPEAKER OUT端子および Hi-Z 70V/100V スイッチ

ハイインピーダンスとローインピーダンス4Ωと8Ωではスピーカーの接続箇所が違いますのでご注意ください。

ハイインピーダンススピーカー接続時は、スピーカーに合わせて70V/100Vスイッチを設定してください。また、接続するハイインピーダンススピーカーの定格入力の合計は、必ず240W以下に収めてください。

③ PRE OUT 端子 (モノラル)

本機の各インプットボリューム連動のモノラル出力端子です。増設用パワーアンプを接続できます。

④ アンプ入力端子

外部機器の出力をこの入力端子に接続してアンプ拡張用として利用できます。また、本機のPRE OUT端子とアンプの入力端子の間にイコライザーなどのエフェクターを挿入できます。

⑤ LINE 1~3 入力端子

LINE入力信号を接続する端子で、外部ソース機器やワイヤレスマイクの受信機などを接続します。

⑥ MIC 1~4 入力端子

MIC 1~4 入力は、全てバランス回路で構成されているので、ノイズの影響を受けにくくなっています。コンデンサーマイクはリアパネルのMIC 1端子に接続することをおすすめします。

⑦ MIC DUCKER SENSITIVITY

MIC 1に入力された信号によりMIC 1を除いた全ての信号を遮断できる優先放送機能です。

ノブを回して動作感度を調整します。右に回すと動作しやすくなります。

⑧ ファンタムスイッチ

MIC 1入力端子 (フロント側、リア側) のファンタム電源をON/OFFするスイッチです。コンデンサーマイクなどファンタム電源が必要な機器を使用するときにONにすると、標準フォンジャック (フロント側) とXLRジャック (リア側) の2番と3番ピンに+15Vを供給します。

ONにするときはファンタム電源を必要とする機器以外は接続されていないことを確認してください。接続機器の故障の原因になります。

※注意: スイッチをON/OFFするときは、インプットボリューム、マスターボリュームを最小にしておくことをおすすめします。大きな音量のノイズが出力され、スピーカーの損傷の原因になることがあります。

⑨ FM 端子 (ICA1240MSのみ)

FMアンテナを接続します。

※注意事項: FM電波は電波の特徴上、谷、ビル、地下、建物内部施設では弱くなります。周りの状況を考慮してアンテナを設置してください。

室内アンテナ設置時

同梱のFMアンテナを接続し、受信状態が良い位置にアンテナを設置してください。

屋外アンテナ設置時

建物内部の受信状態が良くない場合は、屋外アンテナを75Ω同軸ケーブルで接続し、受信状態が良い位置にアンテナを設置してください。

5. 操作方法

- ① 電源コードをコンセントに挿す前に、電源スイッチはOFF、TONEコントロールは中間位置に、マスターボリュームは最小に設定してください。
- ② スピーカーおよび入力機器は正しく接続されているかを確認してください。
- ③ 電源コードは先に本機に接続し、電源プラグをコンセントに挿してください。
- ④ 電源スイッチを押すと、POWERインジケータが点灯して本機が動作します。
- ⑤ レベルインジケータを確認しながら、それぞれのインプットボリュームとマスターボリュームで音量を、TONEコントロールで音色を調整してください。
- ⑥ USB対応CDプレーヤー & FMチューナー (ICA1240MSのみ)

- SOURCE 選択

SOURCEボタンを押すとCD → USB → FMの順番に切り替わります。

- CD再生時 (4, 5はUSBも同様)

1. SOURCEボタンを押してCDを選択します。
2. ディスクをCDスロットに入れます。
3. 音楽CDの場合は ▶/|| を押して再生したり、▶▶, ◀◀を押してトラックを選択します。
4. MP3, WMAの場合は、FLDRボタンでフォルダを選択後、▶▶, ◀◀を押してトラックを選択します。
5. 再生中に ▶▶または ◀◀を押し続けると早送り / 早戻しします。

- USB接続および使用の際の注意事項

別途ドライブの設置が必要な機器は非対応です。

USB使用中はUSBを外さないでください。

USBメモリの容量が大きい場合は、ファイルを開く時間が長くなります。

データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても弊社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。

USBハブや延長ケーブルを使用すると、本機で認識できない場合があります。

NTFSファイルシステムは対応できません。FAT32ファイルシステムに対応しています。

(ファイル数は499個まで対応できます。)

* 外付けHDDやカードリーダーUSBデバイス、またはスマートフォンは使用できません。

* 本機をパソコンに接続して使用することはできません。

* フォルダおよびファイル数が100個を越える場合は、表示部で正常に表示できません。

- ディスクを使用する時の取扱注意事項

ディスクに紙やテープを貼らないでください。

- ディスク保管

直射日光が当たる所や温度の高い所には置かないでください。

お風呂や加湿器の周りなどの湿気が多い所やホコリが多い場所に置かないでください。

保管用ケースに入れて垂直で立てて保管してください。ケースに入れずに物を上に置くとディスクの変形の原因になります。

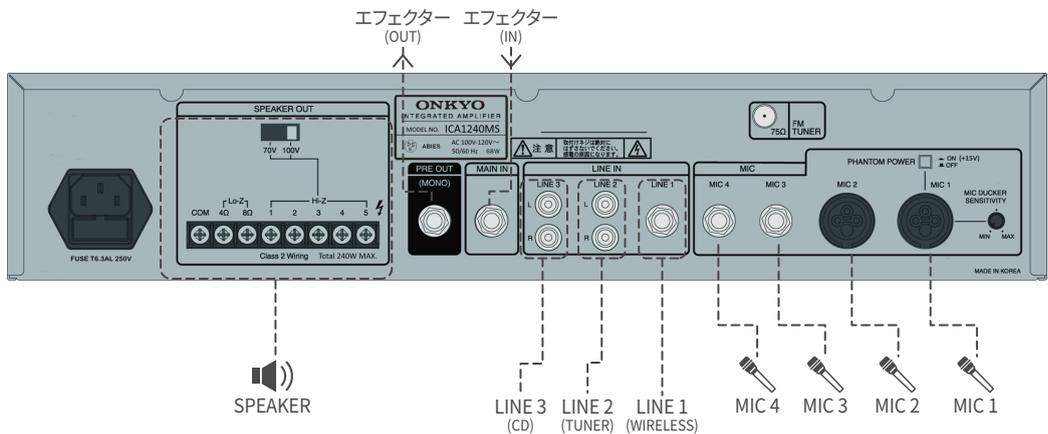
- ディスクを掃除する時

ディスクの指紋やホコリはディスクを損傷させる原因になります。使用前に柔らかい布で中心から外の向へ軽くふきます。

シンナー、ベンジン、商業用強力洗剤、LP用静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

* 8cm CD / VIDEO CDは再生できません。

6. 接続機器

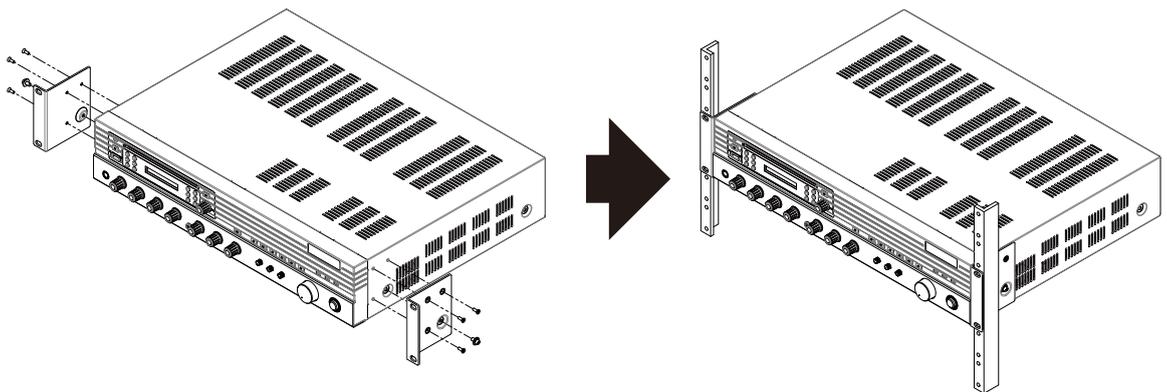


7. ラックへの設置方法

付属のラックマウントキットを使用して、本機をラックに固定することができます。

1. 本機の底面にネジ止めされている足4本を外します。
2. 本機の左右両側面の前方のネジを取り外し、下図のようにラックマウント金具を付属のネジで取り付けます。
3. 本機をラックにネジで取り付けます。

※ ラック取り付けに使用するネジは付属されておりません。別途ご用意ください。



8. 主な仕様

電気的特性	
定格出力	THD 1% :240W
入力感度	-50dBV バランス入力 (MIC 1, 2, 3, 4)
	-10dBV アンバランス入力 (LINE 1, 2, 3)
	1V アンバランス入力 (MAIN IN)
周波数特性(-3dB)	120Hz~10kHz (MIC 1, 2, 3, 4)
	100Hz~15kHz (LINE 1, 2, 3)
	100Hz~18kHz (MAIN IN)
SN比	50dB 以上(MIC 1, 2, 3, 4)
	60dB 以上(LINE 1, 2, 3)
TONEコントロール	LOW : 12dB 100Hz / MID:15dB 1kHz / HIGH:12dB 10kHz
インピーダンス/出力電圧	4Ω/31V, 8Ω/43.8V, 20.8Ω/70V, 41.6Ω/100V

総合	
電源	AC 100~120V / 50~60Hz
使用温度範囲	0°C ~ +40°C (結露なきこと)
消費電力	375W (定格出力)、68W (1/8 POWER)
本体重量	ICA1240MS:8.4kg / ICA1240:7.4kg
外形寸法	440(W) x 94(H) x 355(D)mm

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。

ONKYO**音響映像機器保証書**

持込修理

品番(製品名) ICA1240 / ICA1240MS	製造番号(SERIAL) 本体に記載
--------------------------------	-----------------------

お客様	お名前	様
	ご住所 〒 □□□□ - □□□□	
	電話番号 () □□□□ - □□□□	

お買い上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号
□□年 □□月 □□日	
保証期間(お買い上げ日より)	
本体 1年 (ただし、消耗品・ソフトウェアは除く)	

●お客様へお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をご記入ください。ご購入時の納品書、領収書等の添付がある場合、お買い上げ日、取扱販売店名等の記載に代えることができます。

この保証書は、本書に記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に万一故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ、オンキヨーオーディオコールセンター、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点に修理をご依頼ください。

オーディエス株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-5

・お問い合わせ先
オンキヨーオーディオコールセンター
電話 050-3161-9555

無料修理規定

本保証書は保証期間中、製品のハードウェアの保証をするものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがったご使用で故障した場合は、無料修理をいたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、製品と保証書およびご購入店、お買い上げ日の分かる書類等をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店、またはオンキヨーオーディオコールセンター(050-3161-9555)、オンキヨーサービス拠点にご依頼ください。製品を送られるときは送料をご負担ください。返送時は当社で送料を負担いたします。
- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合は、オンキヨーオーディオコールセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)、水掛り等による故障および損傷
 - 車両・船舶等へ搭載して使用された場合の故障および損傷
 - 消耗品(各部ゴム、電池、キャリングケース等)の交換
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他の製品にある場合
 - 出張修理などを行った場合は、出張料はお客様のご負担となります。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- 故障その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。
 - ※お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
 - ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはオンキヨーオーディオコールセンターにお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。



ONKYO
INSTALLATION

オーディエス株式会社
ODS Corporation

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-5

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター ☎050-3161-9555
受付時間 10:00～18:00 (土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます)